

日本学術会議公開シンポジウム
最終氷期以降の日本列島の気候・環境変動と人類の応答
2023年6月11日（日）13:00～17:20
オンライン開催（事務局主会場：島根大学）

縄文・弥生社会の環境構築

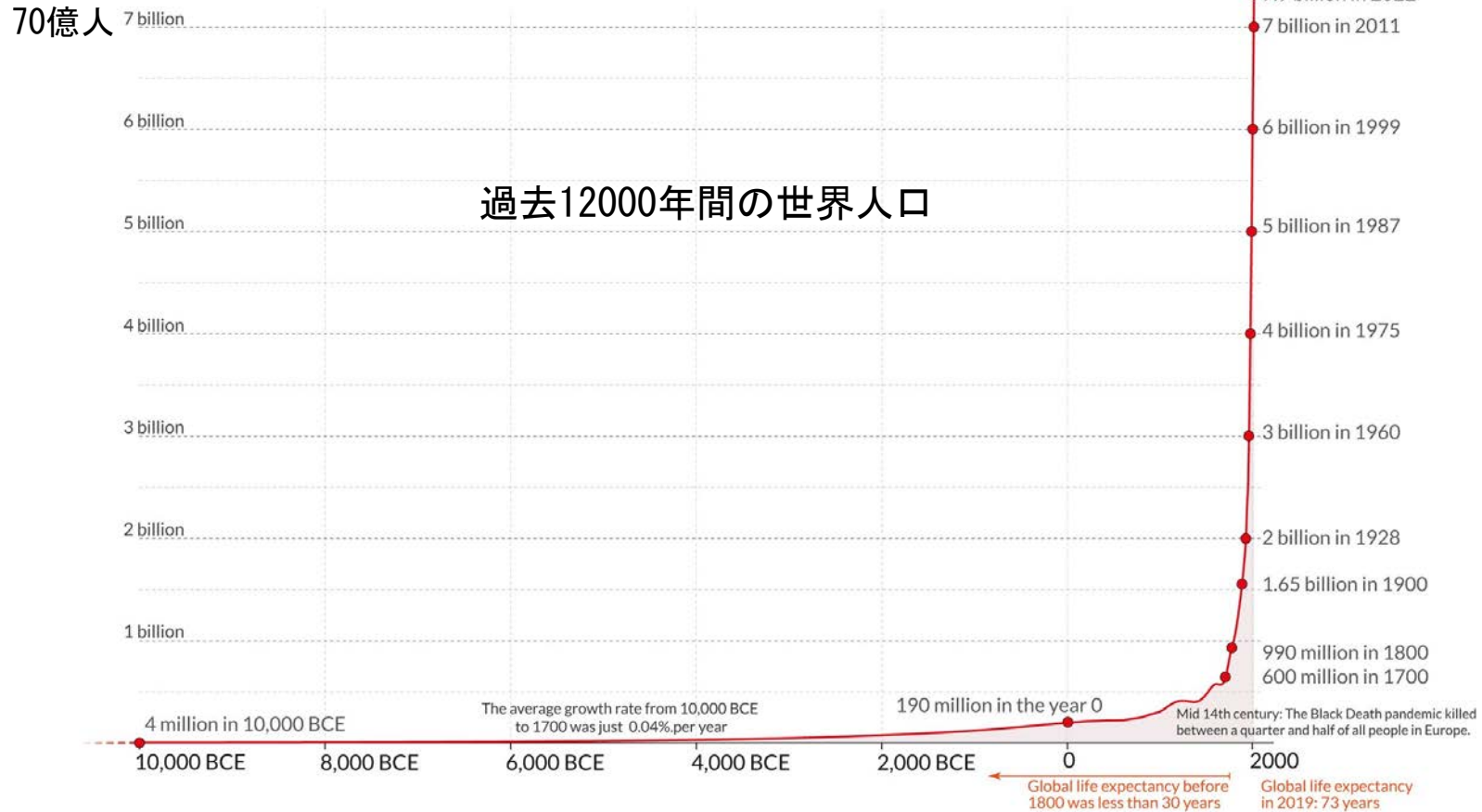
岡山大学文明動態学研究所

松本直子



The size of the world population over the last 12,000 years

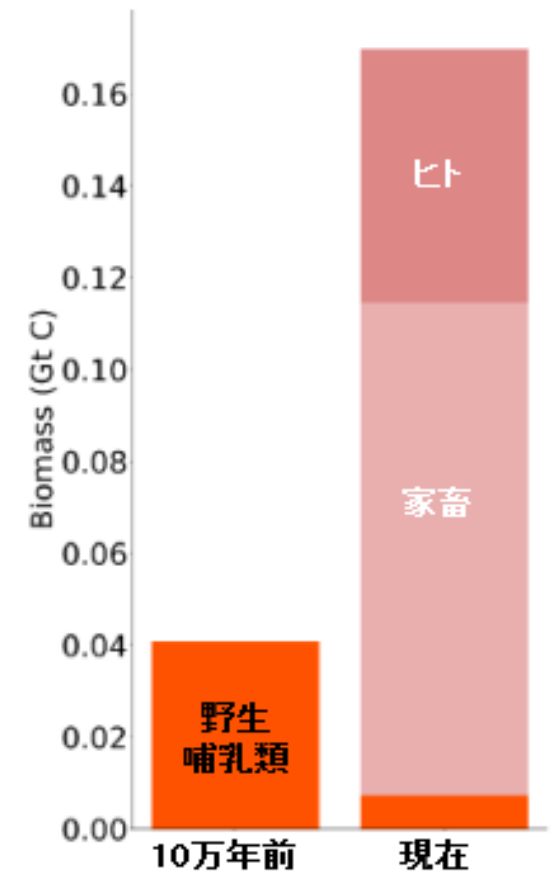
Demographers expect rapid population growth to end by the end of the 21st century. The UN demographers expect a population of about 11 billion in 2100.



Based on estimates by the History Database of the Global Environment (HYDE) and the United Nations. On OurWorldinData.org you can download the annual data. This is a visualization from OurWorldinData.org. Licensed under CC-BY-SA by the author Max Roser.

現在、世界人口は80億人に達し、家畜と合わせると陸上脊椎動物のバイオマスの9割を占めている。いかにしてこの異常な生物学的「繁栄」にいたったのか？

哺乳類のバイオマス変化



Yinon M. et al. (2018) The biomass distribution on Earth, appendix

(グラフ) 社会実情データ図録

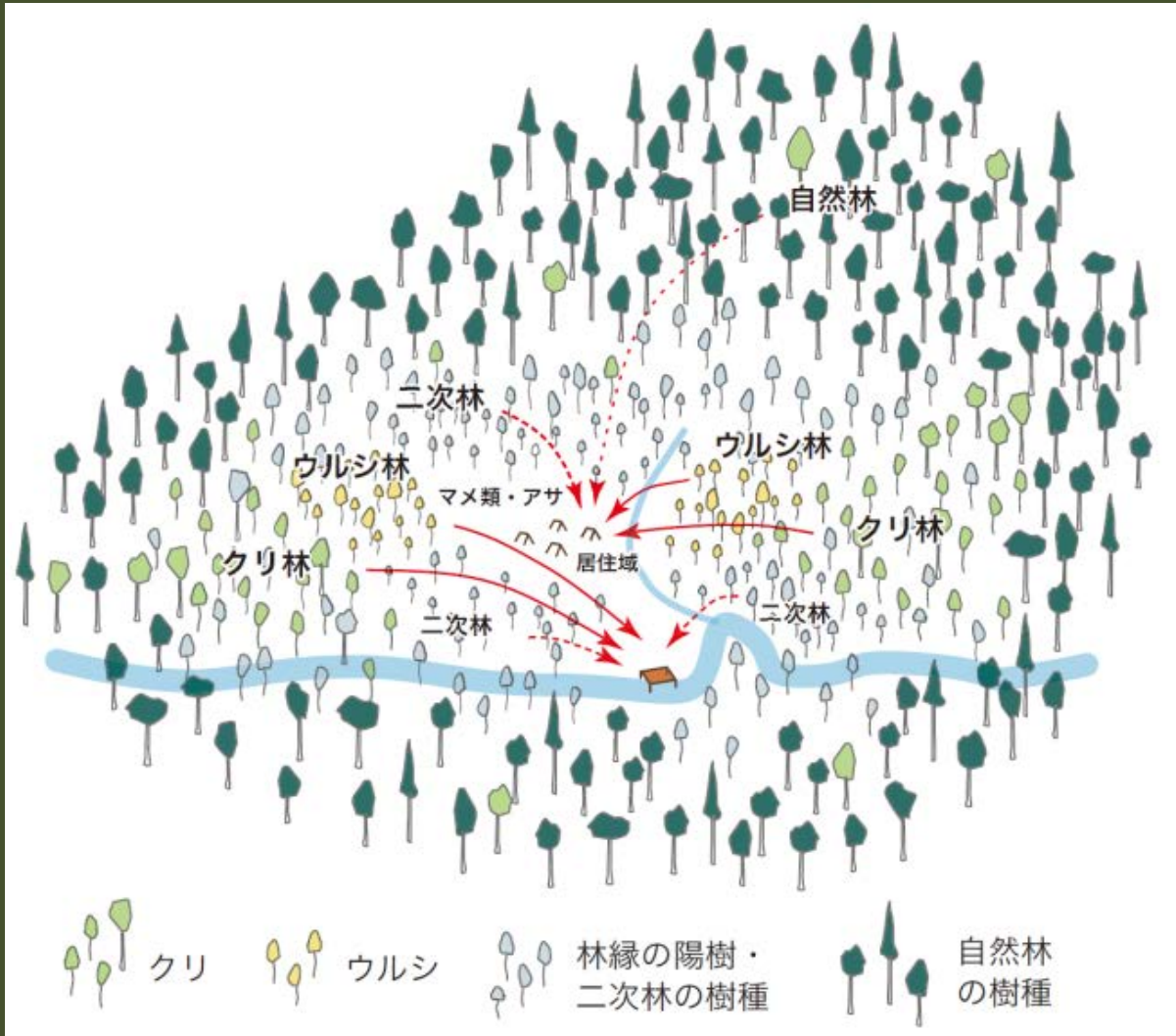
ニッチ構築 niche construction

生物種が同一種ないしは関連する生物種と共同して、固有の環境をつくりだして、生存の可能性を広げること

生物は、環境を変えることで自らにかかる自然淘汰のあり方を変化させることがある。人類は、環境構築の程度、変化のスピード、他の動植物に与える影響の大きさなどにおいて、究極のニッチ構築者といえる。



縄文社会の環境構築 定住から始まるドメスティケーション



環境と人間自身の「飼い馴らし」
住居・集落・周辺環境の構築
土器・土偶などの豊かな物質文化
世界観の構築



岡山県原遺跡出土石皿と磨石
岡山市埋蔵文化財センター所蔵



茨城県広畑貝塚出土土偶
岡山大学考古学研究室所蔵

能城修一・佐々木由香2014「遺跡出土植物遺体からみた縄文時代の森林資源利用」『国立歴史民俗博物館研究報告』第187集

弥生社会の環境構築 農耕と新しい社会関係の形成



板付遺跡の環濠集落と水田（香川元太郎 画 考証 宮地聡一郎
2014年 週刊朝日百科『新発見！日本の歴史』）



岡山県楯築墳丘墓復元図（楯築遺跡案内パネルより）